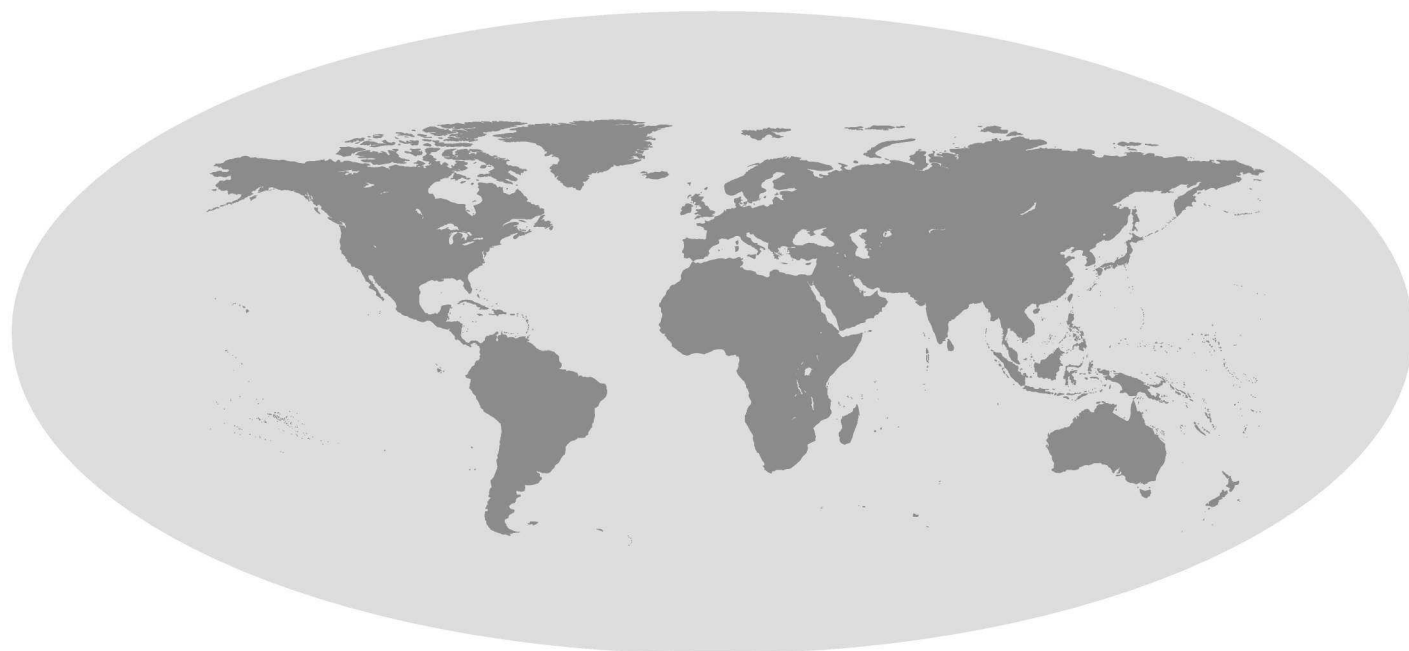


Let's Learn College English



平成29年度 英語履修案内

2017

Niigata University

目 次

○ 英語授業科目の紹介	
アカデミック英語 R1・R2	1
アカデミック英語 L1・L2	1
アカデミック英語 W	1
基礎英語	1
発展英語	1
応用英語	2
実践英語	2
iStep (アイ・ステップ)	2
iStep Continuation (アイ・ステップ・コンティニュエーション)	2
○ TOEIC® テストについて	3
○ 一般的な履修パターン例	4
○ ALC NetAcademy NEXT による学習について	5
○ 学部別英語履修案内	
英語の履修基準	7
人文学部	7
教育学部	8
法学部	8
経済学部	8
理学部	9
医学部・医学科	9
医学部・保健学科	10
歯学部	10
工学部	11
農学部	11
創生学部	12
標準的な英語科目と iStep 科目との対応表	13
英語履修相談室	13

英語授業科目の紹介

アカデミック英語 R1 Academic English (Reading 1) : 第1ターム・週1回授業 (0.5単位)

アカデミック英語 R2 Academic English (Reading 2) : 第2ターム・週1回授業 (0.5単位)

この授業では、大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)で書かれた文書を正確に読むことができる力を養成します。また、ネットワーク型のコンピュータ支援言語学習教材 ALC NetAcademy NEXT(*)を課外学習することにより、第2タームに予定されている TOEIC®受験に備えます。なお、この課外学習は成績の一部となります。

この授業は、1年次第1・第2タームに学部別に開講され、入試成績等(**)に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。第3・第4タームには、再履修者用のクラスが開講されます。第2タームに学外学修プログラムを選択してアカデミック英語 R2 を履修できない学生は、1年次第4タームに開講される再履修者用のクラスを履修するか、2年次以降、第2タームに開講される新1年生向けのクラスを履修してください。

(*) ALC NetAcademy NEXT (アルク・ネットアカデミー・ネクスト) は、インターネットに接続したパソコンで24時間どこからでも学習できます。

(**) 「入試成績等」とは、大学入試センター試験成績、個別試験成績、調査書の評点等を示します。なお、これらは習熟度別クラス編成の参考としてのみに限定して利用し、その他の目的には一切使用しません。

アカデミック英語 L1 Academic English (Listening 1) : 第1ターム・週1回授業 (0.5単位)

アカデミック英語 L2 Academic English (Listening 2) : 第2ターム・週1回授業 (0.5単位)

この授業では、大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)で話された言葉を正確に理解することができる力を養成します。1年次第1・第2タームに学部別に開講され、入試成績等に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。第3・第4タームには、再履修者用のクラスが開講されます。第2タームに学外学修プログラムを選択してアカデミック英語 L2 を履修できない学生は、1年次第4タームに開講される再履修者用のクラスを履修するか、2年次以降、第2タームに開講される新1年生向けのクラスを履修してください。

アカデミック英語 W Academic English (Writing) : 週1回授業・1単位

この授業では、大学入学までに身につけた英語の知識を整理・再構成し、平明な一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)で文章を書くことができる力を養成します。1年次第3・第4タームに学部別に開講され、TOEIC®の成績に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。2年次第1・第2タームには、再履修者用のクラスが開講されます。

基礎英語 Basic English : 週1回授業・1単位

1年次第2タームに受験した TOEIC®で470点(1単位認定基準)に達しなかった学生は、1年次第3・第4タームに基礎英語を履修することになります(医学部医学科を除く)。この授業では、一般目的の英語(English for General Purposes)の運用能力の強化・充実を目指し、主に基礎的な読解力を養成します。また、ネットワーク型のコンピュータ支援言語学習教材 ALC NetAcademy NEXT の課外学習により基礎力の増強を図り、成績評価の一部とします。この授業は、1年次第3・第4タームに学部別に開講され、TOEIC®の成績に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。2年次第1・第2タームには、再履修者用のクラスが開講されます。

発展英語 Advanced English : 週1回授業・2単位 (平成30年度より科目名・内容等変更予定)

基礎英語の単位を取得済みであるか、TOEIC®で470点以上を獲得した学生を対象として開講され、実践的な英語運用能力の向上を目指した学習を少人数クラスで行ないます。

法学部と歯学部で、1年次第2タームに受験したTOEIC®で470点以上の成績を収めて基礎英語の単位を認定された人は、1年次第3・第4タームに学部指定の発展英語を履修してください。

応用英語 Applied English : 週1回授業・2単位 (平成30年度より科目名・内容等変更予定)

アカデミック英語(リーディング)、アカデミック英語(リスニング)、アカデミック英語(ライティング)、基礎英語の4単位を取得済みであり、TOEIC®で730点(あるいは英検準1級)以上のレベルの学生を対象とする上級クラスです。より少人数の理想的なクラス規模によって、英語による応用力養成を図るための科目です。

実践英語 Practical English : 週1回授業・1単位

医学部医学科1年生を対象として開講され、一般学術目的の英語(English for General Academic Purposes)で話された言葉を正確に理解することができる力を中心とした、実践的な英語運用能力の向上を目指した学習を行います。1年次第3・第4タームに開講され、TOEIC®の成績に基づいた習熟度別クラス編成が行われます。

iStep (アイ・ステップ) : 第2ターム・週8回授業・4単位

本年度から第2タームに希望者向けの集中英語コース iStep (Intensive Short Term English Program) が開講されます。国内にいながらにして海外での語学研修に準じた密度の高い学習を行います。学部の垣根を取り払って、基本的に習熟度をもとにした少人数クラス編成を行い、一般学術目的の英語の運用能力向上を目指します。なお、iStepを履修する場合でも、第1タームにはアカデミック英語 R1 およびアカデミック英語 L1 を履修しなければなりません。

履修を希望する人は、iStep 履修説明会に参加してください。

iStep Continuation

(アイ・ステップ・コンティニュエーション) : 第3ターム・週1回授業・0.5単位

第4ターム・週1回授業・0.5単位

第2タームの集中英語コース iStep を修了し、さらに実践的な英語運用能力の向上を目指す学生向けに開講される科目です。第2タームのiStep 修了者を優先しますが、余裕がある場合に限って、TOEIC で600点以上を獲得した学生(全学部・全学年)も履修することができます。

※ 1単位の授業では週1時間、2単位の授業では週4時間の課外学習を前提とします。

TOEIC®テストについて

新潟大学では、全員が TOEIC®IP テストを受験することになっています。TOEIC® テストは、現在約 150 ヶ国で実施されている英語運用能力を測るテストで、和文英訳・英文和訳などではなく、実際の場面で「どれだけ英語でコミュニケーションができるか」という力を測ります。2 時間で 200 問に答えるマークシート方式で、出題形式は毎回同じです。結果は合否ではなく 10～990 点のスコアで示され、評価基準も毎回一定です。そのため、TOEIC® テストを受けると、そのスコアから現在のあなたの英語力を客観的に知ることができます。自分の実力を正確に把握すれば、今後、何をどう努力すればよいのかの指針となり、英語の学習計画をたてるのに役立ちます。

本学の 1 年生は、アカデミック英語 R1・R2 の課外学習で ALC NetAcademy NEXT を利用して出題形式に慣れた上で、第 2 ターム(7 月初旬)に TOEIC® IP テスト(団体特別受験制度)をキャンパス内の特設会場で受験します。スコアは 9 月上旬に各自の元に届きます。その結果、「日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる」と評価される 470 点以上の成績を収めれば、基礎英語の履修が免除されます。470 点に達しなかった場合は、第 3・第 4 タームに基礎英語を履修し、もう一度基礎固めをすることになります。TOEIC® テストで、自分の英語力を客観的に把握して、自分に合った英語学習メニューを組み立ててください。

21 世紀のグローバル社会では英語でのコミュニケーション能力は不可欠です。企業の中では、TOEIC® テストで一定以上のスコアを収めることを昇任の条件としているところも少なくありません。730 点以上に達すると、「どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている」と評価され、実際、海外部門の社員にはこのレベルの英語力を求める企業が増えています。自分で具体的な目標を立て、発展英語や応用英語などをおおいに活用して、卒業までにより高いレベル(860 点以上)を目指しましょう。

※TOEIC® IP テスト受験申込み手続きについては、入学時のガイダンスなどで説明します。



一般的な履修パターン例

[2年生 第1・第2ターム以降]

応用英語(2単位)履修可

(平成30年度より科目名・内容等変更予定)

(TOEIC®730点以上の場合1年生第3・第4タームから履修可)

発展英語(2単位)履修可

(平成30年度より科目名・内容等変更予定)

(TOEIC®470点以上の場合1年生第3・第4タームから履修可)



[1年生 第3・第4ターム]

アカデミック英語 W

(1単位)履修

(TOEIC®730点以上で単位認定)

基礎英語

(1単位)履修

(TOEIC®470点以上で単位認定)
(医学部医学科以外)

実践英語

(1単位)履修

(医学部医学科のみ)



(第2ターム)

全学実施 TOEIC® IP テスト受験



[1年生 第1・第2ターム]

アカデミック英語 R1・R2

R1 (第1ターム・0.5単位) 履修

R2 (第2ターム・0.5単位) 履修

アカデミック英語 L1・L2

L1 (第1ターム・0.5単位) 履修

L2 (第2ターム・0.5単位) 履修

ALC NetAcademy NEXT による学習について

新潟大学では、CALL（コンピュータ支援言語学習）教材の ALC NetAcademy NEXT を導入しており、本学の学部生・大学院生なら誰でも自宅や大学のパソコンから 24 時間いつでも自主的に学習できるようになっています。自分のペースで自分のニーズに合った学習に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は着実に向上することでしょう。

ALC NetAcademy NEXT は、1 年次の課外学習教材としても利用されます。第 1・第 2 タームのアカデミック英語 R1・R2 では 7 月に行われる TOEIC®IP テストに向けた学習を、第 3・第 4 タームの基礎英語では英語運用能力を強化するための学習を、それぞれ課外に行います。学習状況はそれぞれの科目の成績評価に反映されます。

学習の始め方に関しては、授業で配付される学習のてびきを参照してください。

MEMO

学部別英語履修案内

英語の履修基準

新潟大学での英語の履修基準(卒業要件単位)・履修方法は学部、学科により異なり、最低履修単位数もそれぞれ異なっています。まず自分の所属する学部、学科の履修すべき単位数を確認してください。

学部・学科	英語の最低履修単位数
人文学部	4 単位
教育学部	4 単位
法学部	1 外国語 6 単位
経済学部	4 単位
理学部	4 単位
医学部・医学科	4 単位
医学部・保健学科	4～6 単位
歯学部	6 単位
工学部	4 単位
農学部	4 単位
創生学部	4 単位 (英語の重点学習を選択する場合は 8 単位)

では、これから各学部別に、どのように英語を学んだらよいのかを説明します。

人文学部

英語 4 単位

人文学部の英語の最低履修基準は 4 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

教育学部

英語 4 単位

教育学部の英語の最低履修基準は4単位です。原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語 R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語 L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語 W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施される TOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については13ページの対応表をご参照ください。

法学部

1 外国語 6 単位

法学部では、卒業要件において、1外国語6単位が必修となっています。

英語を履修する場合、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語 R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語 L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語 W（各1単位）を履修し、2年次に発展英語（2単位）を履修することとなります。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施される TOEIC® IP テストにおいて470点以上の成績を収めた学生は、基礎英語の単位が認定されますので、1年次第3・第4タームにおいては、アカデミック英語 W と発展英語を履修してください。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については13ページの対応表をご参照ください。

経済学部

英語 4 単位

経済学部の英語の最低履修基準は4単位です。

●昼間コース

原則として、1年次の第1・第2タームにアカデミック英語 R1・R2（各0.5単位）とアカデミック英語 L1・L2（各0.5単位）を履修し、第3・第4タームに基礎英語とアカデミック英語 W（各1単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週1回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1年次の第2タームに実施される TOEIC®で470点以上の成績を収めた学生は基礎英語の

単位が認定されます。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

●夜間主コース

原則として、1 年次の第 1・第 2 タームに共通英語(週 1 回・1 単位)、第 3・第 4 タームに基礎英語(週 1 回・1 単位)を履修し、さらに 2 年次の第 1・第 2 タームに発展英語(週 1 回・2 単位)を履修してください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を得た学生は基礎英語の単位が認定されますので、1 年次の第 3・第 4 タームに発展英語を履修してください。

理学部

英語 4 単位

理学部の英語の最低履修基準は 4 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

医学部・医学科

英語 4 単位

医学部・医学科の英語の最低履修基準は 4 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームにアカデミック英語 W と実践英語 (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

医学部・保健学科では外国語の最低履修単位が、英語 4 単位、初修外国語 2 単位を含む合計 8 単位となっています。英語を重視するか、初修外国語を重視するかによって履修方法が 2 つに分かれます。

1) 英語を重視して、英語 6 単位・初修外国語 2 単位の場合

1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回で、合計 4 単位となります。

さらに、1 年次の第 3・第 4 タームに開講される入門医療英語(週 1 回・1 単位)と、2 年次以降に旭町キャンパスで開講される医療英語(週 1 回・2 単位)から、最低あと 2 単位分を履修してください。

2) 初修外国語を重視して、英語 4 単位・初修外国語 5 単位の場合

1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

上記いずれのケースでも、アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※入門医療英語及び医療英語は、保健学科の各専攻が育成する医療職者に求められる ES P(特定目的のための英語)の領域での、EAP(学問のための英語)と EOP(職業のための英語)を学習することを主目的とする科目です。看護学・放射線技術科学・検査技術科学及びその関連分野を専門にする日本人教員が担当します。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

歯学部の英語の最低履修基準は 6 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。さらに 2 年次に発展英語(週 1 回・2 単位)を履修することになります。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されますので、1 年次の第 3・第 4 タームには、アカデミック英語 W と発展英語を履

修してください。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

工学部

英語 4 単位

工学部の英語の最低履修基準は 4 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2（各 0.5 単位）とアカデミック英語 L1・L2（各 0.5 単位）を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W（各 1 単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

農学部

英語 4 単位

農学部の英語の最低履修基準は 4 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2（各 0.5 単位）とアカデミック英語 L1・L2（各 0.5 単位）を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W（各 1 単位）を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、基礎充実型 1 クラスと標準型 4 クラスが開講されます。入学時の学部ガイダンスの際にクラス分けが行われますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※ 標準的な英語科目と iStep 科目との対応については 13 ページの対応表をご参照ください。

創生学部

英語 4 単位(英語の重点学習を選択する場合は 8 単位)

創生学部の英語の最低履修基準は 4 単位です。原則として、1 年次の第 1・第 2 タームにアカデミック英語 R1・R2 (各 0.5 単位) とアカデミック英語 L1・L2 (各 0.5 単位) を履修し、第 3・第 4 タームに基礎英語とアカデミック英語 W (各 1 単位) を履修してください。以上の科目はいずれも週 1 回です。

アカデミック英語 R1・R2 とアカデミック英語 L1・L2 は、入試結果等を参考にして習熟度別にクラス編成が行われ、その結果が掲示されますので、指定されたクラスで聴講手続きを行ってください。

なお、1 年次の第 2 タームに実施される TOEIC®で 470 点以上の成績を収めた学生は基礎英語の単位が認定されます。

※ 2 年次のスキル習得中心の科目で英語を選択する学生は、上記 4 単位に加えて、実践アカデミック英語 S.P.A.C.E. (Skills Program for Academic and Content English) (仮称) 科目から 4 単位分を 2 年次に履修してください。

以上の説明はあくまでも卒業要件単位を満たすためのものです。必要単位数を満たした後で、発展英語 (卒業要件に加えて 4 単位まで履修可能) やさらに上級の応用英語 (履修単位数の制限なし) を履修することもできます。(発展英語・応用英語は平成 30 年度より科目名・内容等の変更を予定しています。)

※必要単位を満たした後で履修・修得した単位の取り扱いは、各学部学務係で確認してください。

標準的な英語科目と iStep 科目との対応表

標準的な英語科目	iStep 科目の履修による充足
アカデミック英語 R2(0.5 単位)	Academic Reading (0.5 単位) の履修をもって充足する。
アカデミック英語 L2(0.5 単位)	Academic Listening & Speaking (0.5 単位) の履修をもって充足する。
アカデミック英語 W (1 単位)	Academic Writing 1 (0.5 単位) および Academic Writing 2 (0.5 単位) の履修をもって充足する。
基礎英語 (1 単位)	以下の科目から 1 単位分の履修をもって充足する。(TOEIC 470 以上の場合は単位認定) Topic Based Speaking (0.5 単位) Presentation 1 (0.5 単位) Presentation 2 (0.5 単位) Intercultural Communication (0.5 単位)

- ※ iStep 科目履修者には、アカデミック英語 R2 とアカデミック英語 L2 の第 2 タームにおける重複履修は認めない。
- ※ 法学部・歯学部の「発展英語」および医学部医学科の「実践英語」については、iStep および iStep Continuation 科目の履修をもって充足することはできない。

英語履修相談室

必修科目などとのバッティングにより英語の聴講手続きで著しく困難をきたしている学生には、下記の通り英語履修相談室を設けますので、利用してください。

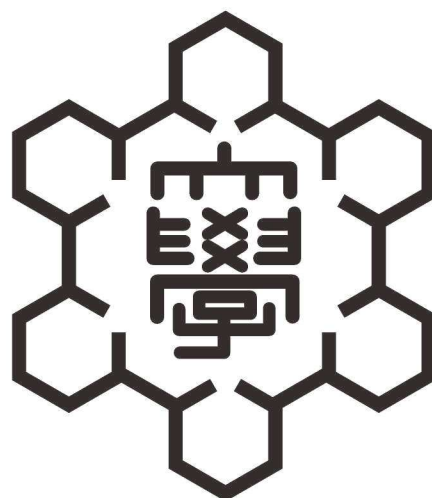
期間： 第 1・第 2 ターム 4 月 6 日 (木) ～ 4 月 12 日 (水)

第 3・第 4 ターム 10 月 2 日 (月) ～ 10 月 6 日 (金)

時間： 16 時 15 分～16 時 45 分

場所： 総合教育研究棟 B 棟 4 階 B450 演習室





新潟大学

新潟大学学務部教務課

NIIGATA UNIVERSITY STUDENT AFFAIRS DIVISION

〒950-2181

新潟市西区五十嵐2の町8050番地 新潟大学総合教育研究棟

General Education Building, 8050, Ikarashi 2-no-cho, Nishiku Niigata City 950-2181, Japan



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。